

「核兵器廃絶と世界平和に向かって」村内を国民平和大行進
役場前での出発式で、村議団を代表して挨拶

おはようございます。
早朝からまた昨日に続き、ご参加のみなさん、そして、通し行進の中山さん「苦勞様です。」
それから、日曜日の早朝にもかかわらず、平和行進の出発にあたりましてご挨拶に駆けつけて下さいました東海村総務部長の川崎さん、ありがとうございます。
今年で51周年を迎えた2009年原水爆禁止国民平和大行進は、30代から特別なことがない限り、ずっと行進に参加しています。私が5歳の時はじまつたのかと改めて考えていました。
5月6日に北海道礼文島を出発し、今日は、大洗まで行進を引き継ぐこととなります。
日本共産党の志位委員長は、オバマ大統領がプラハで行った「核兵器廃絶を国家目標とする」と初めて明示した演説に対して、大統領あてに、演説への感動を伝え、そして実行に移すことを求める手紙を送りました。それについて、アメリカ政府から日本共産党に歴史上初めて公式の返書が届けられました。

このように米大統領との一致点で評価する日本共産党の行動に、「共産党の気持ちの広さを感した」との感想もよせられていました。
先日、比例代表北関東ブロックで日本共産党の2議席以上を必ず獲得しようとする奮闘中のあやべ澄子さんが党村議団といっしょに、村上村長を訪ね懇談しました。
広島・長崎の市長がよびかけた「平和市長会議」に県内で7番目に名前を連ねている村長は、オバマ大統領の演説には、「びつくりした。勇気がある。オバマ大統領は暗殺されるのではないかと心配になった」と話していました。
オバマ大統領のこのような行動は、とりもなおさず国内の被爆者の核廃絶への切実な思いや、毎年地道にねばり強く続けてきている私たちの行動のひろがりによるものではないでしょうか。
今日も元気に、核兵器廃絶と世界の平和に向かって歩きましょう！

行進最終点で通し行進の中山さんたちと(6月28日)



安心して働き、暮らせるルールある日本社会実現へ、政治の中身を変える日本共産党。
比例代表選挙は
日本共産党へ
「500円募金」にご協力をお願いします

こんにちは日本共産党村議の
川崎あつ子です

2009年 7月 5日 22

ご相談はお気軽にお寄せください
〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229
atsukok@nexyzbb.ne.jp

6月議会の質問から

白方小学校 移転跡地利用についてご報告します

川崎 住宅地の中なので、周りから見守られながら安心して暮らせる老人ホームがつけられるといいな」といつ声があります。また、子供たちの集える児童館が欲しいという声も寄せられています。跡地利用については現在どう検討されているのか、住民の声の集約はどうか。
企画政策部長 跡地利用については、公有財産事務の総括である財務課が担当となります。現在、学校教育課、都市政策課など関係所管課とともに、校舎解体や既存建物の取り扱など跡地利用に際しての懸念事項の整理を行っており、今後全庁的に協議を進めてまいります。
住民の声の集約とその方法

については、文化教育施設としての活用や憩いの広場、公園という声があることは承知しておりますが、一方で東部排水路支線地域にあります白方地域内においては、近年のゲリラ豪雨と言われる集中豪雨により、住宅等の浸水被害が発生しております。このことから、白方小学校移転後の跡地に雨水の貯留施設を建設するよう検討しているところです。今後、秋頃までには庁内での議論を整理したうえで、地域の皆様と協議をしながら計画案づくりを進めてまいりたいと考えているところです。
みんなの思いを届けましょう。



ねじ花